

子宮頸がん予防ワクチンのキャッチアップ接種について

1 事業の概要

積極的な接種呼びかけを中断していた期間に定期接種の対象年齢（小学6年～高校1年）を迎え、接種機会を逃した女性に対して、本年4月から国の予防接種法において改めて無料で受けられるようになりました。これを受けまして、対象者に対してお知らせと予診票を送付（令和4年7月29日）しました。

2 対象者

平成9年度生まれ～平成17年度生まれの女性（約14,000人）
定期接種3回分を接種していない方

3 接種期間

令和4年4月1日～令和7年3月31日

4 接種手段

宮崎市・東諸県郡管内の指定医療機関での個別接種

※県外での接種をご希望の方は、実施医療機関をお決めの上、接種の2週間前までに親子保健課に連絡が必要

5 成果

- ①子宮頸がんの罹患を防ぐことができる
- ②妊娠の機会の喪失や、流産、早産、命を失うリスクを低減させることができる

※ 参考情報

- 子宮頸がんは、若い世代の女性のがんの中で多くを占めるがんである
- 日本では、毎年約1万人の女性が罹患し、更に毎年約2,900人が亡くなっている
- ほとんどの子宮頸がんはHPV（ヒトパピローマウイルス）への感染が原因であり、40歳までの女性におけるがん死亡率としては高い傾向にある
- 患者は、20代から増え始め、30代までにがんの治療により子宮を失ってしまう人も年間に約1,000人いる
- 令和3年11月26日、積極的勧奨が再開されることになる（厚生労働省健康局長通知）

【お問い合わせ先】

子ども未来部親子保健課
医療給付係予防接種担当
電話：0985-73-8200